●地域とともに●

明日にむかって

発行／社会福祉法人 陽光会　陽光保育園　編集／陽光保育園「明日にむかって」編集委員会
発行日／1999年11月12日　住所/東京都板橋区大谷口上町23-1　☎03(3956)1068　31号

全面的に育っていると、子どもは、体じゅうで遊び、体じゅうで考え、体じゅうでつかみとっていく。目的をもった明確な行動をいっぱいに生きて、大きくなることが嬉しくてたまらないのだ。子どもが音楽と一体になって喜びにあふれ、前へ前へとうたを開いていくとき、子どもは育っている。（中略）激動の時代だからこそ、いま、かぎりなくやさしく、鮮烈なうたをうたいつづけたい（丸山亜季「授業のための歌曲集」第13集より）。おおいに共感している言葉です。／陽光保育園の子どもたちも丸山亜季さんのうたをたくさんうたっています。この9月の創立50周年“陽光まつり”の時も、大人たちと一緒に楽しんで行事に参加する子どもたちの笑顔とうた声がとても素敵でした。／10月は運動会。子どもたちは一人一人目標をもって課題にとりくみました。どうしてこんなに一所懸命になれるのかと思うくらい、子どもたちは、もっともっと伸びようとして輝いています。その姿は大人たちがいつの間にか忘れてしまっている何かを呼び起こしてくれたように思います。／子どもたちに励まされての日々。歴史の新しいページは確かにきざまれました。　（H・N）

創立50周年 陽光まつり

☆なごやかに、楽しくつどう☆

9月12日、陽光保育園の創立50周年を祝う「陽光まつり」が開かれました。参加者は約250人。お天気にも恵まれて、楽しい会をもつことができました。参加くださった皆様、ありがとうございました。実行委員の皆様、ご苦労さまでした。

展示

上：クリスマスなどに子どもたちに贈った手作り品の数々
右：子どもの絵などを展示したコーナーも大勢の人で賑わった

ステージ

オープニングは竜鳴太鼓。ホールいっぱいに力強い音が響きわたった

音楽構成劇「小さいお城」。在園・卒園の父母と職員、みんなでつくりあげた

「小さいお城」のフィナーレは在園児もまじえ、みんなで合唱。会場の雰囲気は最高潮に！

上：卒園父母の白柳さんご夫妻によるチェンバロ、リコーダーなどの演奏。みんな静かに耳を傾けた
左：加藤朝雄さんほかによるジャズ演奏。最高に盛りあがって、ステージは幕を閉じた

スピーチ

50年前に卒園した方から在園の父母、新旧職員と、さまざまな人がスピーチに立った

乾杯！

第1回卒園の江田一夫さんの乾杯の音頭のあと軽食タイム。少しビールも入っていい気分に

参加者の声

〈展示物を中心に〉
★手作りのおもちゃや子ども自身が作った荒馬など、陽光ならではの宝物ですね。10年先まで受け継がれていくことを望みます。
★とてもすばらしかったです。思っていた以上に楽しめました。50年間一貫している保育への思いが伝わってきました。
★陽光保育園の保育がどんなものかよくわかりました。改めて感動しつつ、わが子はこんな保育を受けて幸せだったと思いました。ありがとう。
★創立以来からの写真の展示など、興味深く見せてもらいました。久しぶりに会ったお母さんたちとも話しがはずみました。卒園した子の父母も、今年入園した子どもの父母も、この陽光まつりで、子どもの未来が希望へと続くことを確信できたことと思います。10年後の陽光保育園が楽しみです。

〈まつり全体をとおして〉
★この半世紀、ただひたすら子どもの未来のために歩んできた陽光保育園の思いが伝わってきました。家族的な雰囲気で、楽しい一日でした。
★在園児の父母、職員、卒園児の父母などで行った劇をはじめ、一体となってみんなで支えてきた陽光保育園のすばらしさ、歴史の重み、そのすそ野の広さを感じました。
★劇「小さいお城」のキャストがぴったりで楽しかった。一度きりではもったいないので、何かの機会に再演を！　終始なごやかで、手作りの感じが陽光らしくてよかったです。
★50周年といっても式典色が強くなく、子どもたちと一緒に楽しめる会で、とてもよかったです。

「陽光まつり」を終えて

陽光保育園父母の会会長　古橋秀信

改めて〝創立五〇周年〟おめでとうございます。

「陽光まつり」当日には、二五〇人余りの本当に多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。陽光保育園がいかに多くの卒園児を送りだし、またいかに多くの方に支えられてきたかを感じずにはいられませんでした。なかでも乾杯の音頭をとってくださった第一回卒園児、江田様のお話などをうかがうに、歴史の重みをひしひしと感じたしだいです。

展示コーナーは、わかりやすく説明した陽光のあゆみ、園舎の移りかわり、保育内容の紹介、おもちゃ、子どもたちの絵等々、数多くの出品物が並びました。とくに給食の献立の変遷では、少し変な(?)メニューもあって、来場者の興味をひいていました。

ステージは、竜鳴太鼓に始まり、音楽構成劇「小さいお城」、白柳ご夫妻によるフルート等の演奏、そしてJAZZと、盛りだくさんの内容でした。

こうした企画から感じられたのは、華やかさではなく、陽光がいかに「自分で考え、行動し、思いやりのある子どもを育てる」というしっかりとした理念のもとに運営されてきたかということです。時代の流れとともに価値観は変化するものですが、子をもつ親としての共通の願いは、まさにこの陽光の理念そのものではないでしょうか。父母の会として「陽光まつり」に十分にかかわれなかったという思いもある反面、在園父母の方がたくさん参加し、この理念を感じていただけたことは、本当によかったと思います。

打ち上げの席で、ある子どもさんから「僕が創立百周年をやる」という力強い発言も聞かれましたが、これからもこのよき保育園を、みんなで支え、育てていきたいと思います。

ひまわり募金ありがとうございます

1999年3月15日～10月15日（創立50周年記念行事祝金含む）／順不同

●個　人　平井恵洋　山田保子　石川晴美　黒田浩子　小林武二　斉藤キミエ　北林久美子
中山茂樹　渡辺弘子　長島良子　山本卓三　津田良輔　宮沢光子　榎本恵美子　高久ますみ
福田花子　江田一夫　吉永和男　小泉　翠　石川晴美　横田和美　奥西千代子　金親なほ子
渡辺　修　今井茂子　関　恵美　内田真代　藤城順子　鰆目久代　飯塚まさみ　田上喜久江
菅原房代　小内康寛　酒井　輝　井上ゆう子　岡本八重子　中島加奈子　田中鉱四郎
●団　体　板橋区私立保育園園長会　上町親睦会　日大前自治会　和泉屋　大のぶ食料品店
甘集堂　八百竹商店　陽光保育園子どものしあわせを願う会　陽光保育園後援会有志
陽光保育園後援会

今後の予定

◎冬のバザー
日時　12月5日(日)　10時～14時
場所　陽光保育園

◎地域共育講座
子どもとともに生きる
日時　2000年1月21日(金)　午後6時30分～8時30分
会場　陽光保育園ホール
講師　三上　満（子どもと教育を守る文化会議代表）

☆お申し込みは板橋区保育課へ。「広報いたばし」10月30日号を参照してください。
☆申込書は当園にもあります。

＝園児募集＝

（平成12年4月入所）

年齢	定員	募集
5歳児	18	0
4歳児	18	3
3歳児	15	3
2歳児	12	2
1歳児	10	4
0歳児	6	6
計	79人	18人

◆特　集◆

子どもの発達を考える㉔

陽光っ子はいま

中学生の巻

創立以来五〇年、陽光保育園の卒園児は一千名以上にのぼります。今回の特集は、その卒園児のなかから中学生の七人に、それぞれの「いま」を書いてもらいました。大人への第一歩を踏みだす「思春期」のまっただなかで、彼、彼女たちは、どんな思いを抱いて日々の生活を送っているのでしょうか。短い文面のなかに、その一端がかいま見えるようです。中学生の置かれている現実は厳しいものがありますが、「ひとりひとりがかけがえのない大切な存在である」ことを胸に刻んで、これからも成長していってほしいと思います。

今、夢中になってること

僕は、この春中学生になりました。最初は小学校とあまり変わらないと思っていましたが、中学校生活に慣れてくると、大変さがわかってきました。とくに部活があるので遊ぶひまがなくなりました。

でも今、一番夢中になっているのはその部活です。

僕は、バスケ部です。入部したときは、先生は厳しく、練習もきつくて部活に行くのがいやでした。

でも、がんばって部活に行きました。小学生のときやっていたサッカーが役にたって、練習にも慣れました。夏休みには一回も休まないで練習に行き、ユニホームをもらうことができました。

今はバスケが楽しくてしかたありません。練習は厳しいですが、二月の一年生大会に向けて、がんばりたいです。

穆佐　望

私の中学生活

楽しかった、保育園、小学校生活を終えて、新しい環境、知らない同級生、真新しい制服、どれもこれも初めての事ばかり。そんな中私は、緊張の入学式をむかえました。

中学校生活は、どれもこれも本当に知らない事ばかりで、毎日緊張の連続でした。

そんな中、仲の良い友達もでき、学校も楽しくなってきました。

中学校の初めての行事、それは「運動会」でした。私は、どちらかというと短距離の方が得意なのですが、800mに選ばれ、大きな不安と緊張の中、本番にいどみました。結果、1位になり、とてもうれしかったです。

中学校の生活にもだいぶなれ、今は勉強と部活でがんばっています。

これからも色々な経験をつみ、楽しい中学校生活をおくりたいと思っています。

水野　智枝子

自分が感動したこと

私は小学校のころ、一年生から六年生までずっと同じクラスだったA子にずっとうらぎられたり、うそをつかれたり、あることをされたりしました。けど、中学に入ってすごくいい友達ができました。B子です。A子からいままでされたことを全部B子に話したら、B子は私の気持ちをわかってくれて、いっしょにむかついてくれたりした。また、A子が一番強い子に「紗己にいじめられてる」みたいなことを言って、その強い子が紗己が全部悪いと言った時に、「ちがうよ、紗己はうそをつかれたりしたんだって」って言ってくれたと聞いて、私はすごくうれしかったです。いままでこういうふうに言ってくれた子はいませんでした。私はB子のことを本当の友達だと思っています。今は、その子のおかげで、A子とも前みたいに、クラスメートとしてふつうに接することができるようになりました。B子とは一生友達でいたいです。

渡部　紗己

忙しいけど楽しい中学校

僕は今、とても運動が好きです。特に部活でやっているバスケットボールはとても楽しいです。もうすぐ中学三年生になってあそべなくなってしまうので、今のうちに思いっきり遊ぼうと思います。

遊びでいうと陽光保育園を思い出します。今思うと、陽光の時が一番遊べたからです。陽光はいい所だな、これを書いていて思いました。

今のバスケット部は楽しいです。陽光の遊びもたのしいけれど、バスケットも楽しいです。学校も楽しいです。まったく知らない人と友達になり、友達がいっぱいふえました。友達、部活があって、とても楽しい学校生活です。陽光保育園には、たまに行こうかなと思っているけど、やっぱりいそがしくて行けません。だからこれを頼まれた時には、ぜったい書こうと思いました。これからも陽光には行きたいと思いました。

鈴木　翔太

アメリカでホームステイ

※陽光保育園は他の保育園とはちがい、卒園した後も、つきあいがあっていいと思います。

※私は今年の夏に、アメリカのカンザス州という所に一人でホームステイしにいきました。アメリカの家の人はちがう国の人だから…ということはなく、私のことをとってもあたたかくむかえ入れてくれました。日本とはちがって道で会った知らない人まで"Hi♡"と言ってくれました。すごいうれしかったです。アメリカでは、家にいたプタとかのせわをしたり、家にあったプールに入ったりしました。「アメリカ、サイコーッ!!」ってかんじでした。もう少し大きくなってからアメリカに行っていたら、感じたことはちがったと思います。今じゃないとできなかったと思います。〈たぶんね〇〉

＊あめりか話END＊

※はっきり言って中学はつかれます。今思うと保育園&小学校はラクだったなぁーって思う。

今のうちに遊ぼう!!　小学生よ…。

※ではでは最後に。保育園の時おせわになった人よぉーっ、Thank you.

江原　のぞみ

大好きな部活

三年間ずっと続けてきたバドミントン部を九月に引退した。勝っても負けても、最後の大会だった。

三年生は、たったの五人しかメンバーがいない。入部したての頃は、体育館の外で素振り、あるいはフットワークばかりしていた。なんて、厳しい部なんだろう。けど、先輩達みたく上手になりたいと、いつも一生懸命やっていた。夏休みには長野県に合宿へ行った。普段の練習以上にハードなものだった。それでも、大好きなバドをやめることはなかった。

そして、随分と成長した私たちは、区大会で二大会連続三冠を成し遂げた。そのときは、五人で泣いて喜んだ。五人でバドを続けてきて、本当によかったと思う。練習はきつかったけど、一緒に励まし合いながらやれたこと、楽しくやれたことは部を引退しても忘れない。大好きなバドミントンに出逢えて、素晴らしい仲間に出逢えて、最高の中学校生活が送れた。大好きなバドミントンを通じて学んだこと、これからもずっと大切にしていきたい。

大野　真理子

私とブラスバンド部

私にとって、中学校生活の二年半は、あっという間でした。その二年半で、私はいろいろなことを学びました。その中で、一番大きいものは、トロンボーンとの出会いでした。

二年半での部活動では、いろいろな経験をし、その一つ一つを終えることで、少しずついろいろな事で成長してきました。

今年のコンクールは、ワンランク上のBクラスで、とくに三年生は、気合が入っていました。それに今年は、一年生が十二人増えて、三十一人で一つの音楽を作らなくてはいけなかったし、曲もますます難しかったので、たいへんでした。初めのうちは、時間がたくさんあると思っていたのに、夏休みに入ると、どんどんあせってしまい、思うように吹けませんでした。特に私は、大きな音が出せないし、高い音も出さなければならなかったので、気持ちだけがあせっていました。

でも、部活の合宿で、多くの講師による練習で、大きな音が出せるようになったし、部員達も、この合宿で、大きく成長しました。

しかし、コンクール目前での練習で、くちびるが炎症をおこして吹けなくなり、くちびるがよくない状態でコンクールを迎えました。すごく緊張はしたけれど、気持ちよくふくことができました。結果は、銀賞でした。私は、達成感でいっぱいでした。

気がついたら、夏休みが半分すぎていて、私の中で部活がいかに大きかったかがわかりました。

今思うと、充実したブラスバンド部でよかったです。これからは、残りの中学校生活で、いろいろなことに挑戦していきたいです。

石巻　知紘

陽光保育園子どものしあわせを願う会

さよならパーティー

7月7日の七夕の日、13年間の活動に終止符。参加者はそれぞれに胸の思いを語り合いました。これで終わりではなく、未来につながるようにと（於・陽光保育園ホール）

陽光保育園父母の会主催

うたいまくりの会

10月2日、在園の親子と職員約90人が集まり、陽光保育園の保育のなかで歌われている歌を、みんなで歌いまくりました（於・仲町区民センター音楽練習室）